

令和6年度 県立筑波高等学校学校関係者評価表

評価項目	評 価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校評価アンケート」によると、生徒・保護者からの満足度が高く学校が信頼されていることが分かる。素晴らしい教育活動の成果といえる。 ・生徒の実態・地域性を考えると、「学校自己評価」の「Ⅱ生徒指導の充実」で達成しえなかった20%の部分への取組が必要。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・多忙化への対応は、近隣中学校等との協働や地域の協力を得つつ、いかにして教員の負担を軽減するかがカギ。学校に期待される役割が増す中で、緊急性、重要性を鑑みつつ適切に取捨選択していただきたい。 ・「学校自己評価表」によると、評価は適切に行われているが、教科によっては「重点項目Ⅰ」にしか視点が当てられていないように思われる。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	<input checked="" type="radio"/> A 十分把握している <input type="radio"/> B おおむね把握している <input type="radio"/> C あまり把握していない <input type="radio"/> D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> ・校外での喫煙や近隣への迷惑行為などは、過剰なクレームの側面もあるが、地域からの学校の信頼につながるので、「見られている」ことを常に生徒に伝え続けるなど、改善が必要。マナーカードに頼らない指導のためにも、日常的に教職員の生徒への何気ない声かけの積み重ねが重要。 ・生徒アンケートからは、家庭での学習習慣がないことが窺える。アドバンストコースの生徒を刺激するなど、全校で学ぶ雰囲気高める対応が必要。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	<input checked="" type="radio"/> A 適切である <input type="radio"/> B おおむね適切である <input type="radio"/> C あまり適切でない <input type="radio"/> D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> ・「つくばね学」は、社会の仕組み、社会で働く人々に触れる貴重なキャリア形成の機会。「探究」に加えて、キャリアの視点も意識してもらいたい。
5. その他（各学校の状況に応じて設定）	<input checked="" type="radio"/> A 十分取り組んでいる <input type="radio"/> B おおむね取り組んでいる <input type="radio"/> C あまり取り組んでいない <input type="radio"/> D 取り組んでいない	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が少ないクラスで、実態に合わせて小グループ化して指導されていることが発信されてよかった。 ・地域との連携、フィールドワークも継続してもらいたい。